

2010年度 大学教職員組合
財務分析ワーキンググループ

2000～2009年度 消費収支計算書
大学・高等部・中等部の比較

2010年11月30日

文学部総合文化学科 竹中幸史



はじめに

ここでは消費収支計算書をもとに大学、高等部、中等部の比較を行う。
(2004年度～2009年度)。

消費収支計算書とは、①帰属収入と
②消費支出を記録したもの。

①帰属収入:1年間の教育研究活動の成果として獲得した収入

②消費支出:その帰属収入をあげることに対応して消費された支出

*この差額=1年間の採算を示す

1. 帰属収入の変化

過去6年間の帰属収入は、中等部にやや減少傾向が見られるが、それも2009年度は回復している。

高等部、大学はともに堅調に推移している。2009年度に大学45億7908万円、高等部4億7728万円、中等部は4億9903万円となっている。

2000～2009年度 帰属収入の推移（単位:万円）

